



2021年度 園だより 8月

2021年 8月1日 きたおおじ保育園



新しい仲間が来てくれた…

3月の開園からずっと園児さんが1人だけだったきたおおじ保育園に、新しい仲間が来てくれました。仲間が増えるって、きっととっても嬉しいはず！ニコニコ顔がたくさん見られる事を期待しておりましたが、いざ顔を合わせてみると、何だかモジモジ困り顔。そして新しい仲間がお部屋のオモチャで遊びだすと、キュ！っと眉間にしわよせてオモチャを奪い取る先輩の姿が。もちろん見てた保育士は言います。「いま遊んではったのよ」「なんで取るの？返してあげてね」そう言われても返そうとはせず、自分の後ろに隠します。仕方なく別のオモチャを新しい仲間へ渡すと、また怖い顔でその子からオモチャを奪い取る先輩の姿が。「取らないで！」「意地悪しないの！」。その後も同じやり取りを繰り返し、先輩の顔は険しいまま。そりゃそうですよ。今までずっと保育園のオモチャは自分だけのオモチャだったんだから。「みんなのオモチャだよ」なんて言われても、僕のオモチャ取らないで！って、なりますよ。

私たちがすべきこと

その場面で、私たち大人がすべき事は何だったんでしょうか？みんなで仲良く遊ぶように言い聞かせる事でしょうか。自分一人だけのオモチャではない事を分かってもらう事でしょうか。お友だちが遊んでいるオモチャを取り上げる事は悪いことだと教える事でしょうか。貸してほしい時は「かして」と言うことが大切だと教える事でしょうか。どれもみな大事なことです。ただその時、誰ひとり先輩の気持ちを代弁してあげていなかった事に気づいたのでした。「今までぜ～んぶ自分だけのオモチャやったのになぁ」「新しくきた子に取られたくないやんなぁ」「勝手に使われたら嫌やんなぁ。嫌やったんやんなぁ。」「大事なオモチャやもんなぁ。使わんといて欲しいなぁ。気持ちわかる！嫌やった気持ちわかるよ～！」って。その時私たちがいちばんすべき事、それは共感する事だったと思います。気持ちを代弁してあげる事だったと思います。そこに気づくことができ、そばにいる大人が子どもの気持ちを代弁する。そんな保育室になっていきました。嫌だった気持ちだけではなく、嬉しかった気持ち。大好きな気持ち。優しい気持ちや温かい気持ち。先輩の気持ちだけでなく、新しく来た仲間の気持ち。保育者自身の気持ちも。そうしていく中で、先輩も自分の気持ちに触れ、仲間の気持ちに触れ、少しずつ、本当に少しずつですが、穏やかな目つきに戻っていきます。ふと見れば、背中をくっつけて遊んでいる。そんな場面に目を細めていると、ぐ～！っと頭で押し合いし始めたり。「そんなんしたら痛いやん！」と声をかけたい気持ちを抑えて、「何が嫌やったん？」と優しく声をかけます。「そっかぁ～、それは嫌やったなぁ～」

優しい気持ち♡

私たちはこの子どもがどれだけ優しい心を持っているのかを知っています。険しい目つきになっても、オモチャを奪い取っても、ともだちを頭で押ししたりしても。抱きしめてあげたいのです。子どもの気持ちを共感し、気持ちに寄り添うことが出来れば、どんな子どもだってみんな素晴らしいイイ子だと気付きます。園舎の隣に咲くアジサイの花を見に行ったある日の午後。しっかりと歩ける先輩が、まだヨチヨチ歩きの新しい仲間へ気づき、そっと手を繋いであげました。転ばないように、ゆ～っくりと歩く2人。それは優しい気持ちでもあり、それは、当たり前そこにあったと、私はステキに感じました

主任保育士 糸井恵太



原爆記念日・終戦記念日

太平洋戦争のとき、世界で初めて日本に原子爆弾が落とされた日が「原爆記念日」(広島8月6日・長崎8月9日)で、戦争が終わった日が「終戦記念日」(8月15日)です。戦争によって亡くなられた多くの方々を追悼し、日本や世界の平和を祈りましょう。決して忘れてはいけない日です。

〈今月の予定〉

- 2日(月) 園だより発行
- 4日(水) 身体測定
- 16日(月) 献立配布
- 27日(金) 誕生会
- 31日(火) 防災の日